

2023年2月9日

関係各位

マネックス証券株式会社

## 2月13日は「NISAの日」NISA利用に関する調査結果を公表

### ～NISAの制度変更内容の満足度は79%と高水準～

マネックス証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：清明祐子、以下「マネックス証券」）は、2月13日（月）のNISAの日を控え、毎年恒例のNISAや投資に関する意識調査を実施いたしました。本調査はマネックス証券に口座を保有している方を対象に行い、計5,183名の回答を得ましたのでその結果を公表いたします。

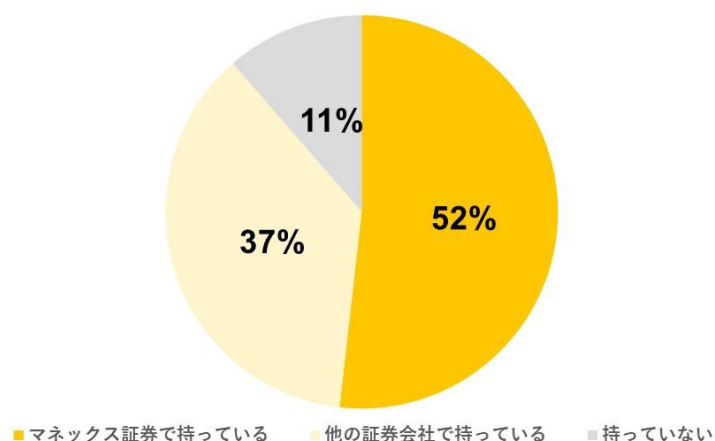
#### 【調査結果要旨】

- ・NISAの利用率89%は2022年調査から微増。（1-1）
- ・一般NISAにおける海外株式の購入は全体で15%と、昨年と変わらない結果となった。（1-2）
- ・NISA口座と課税口座の併用は8割を超えており、大多数の投資家がNISAの枠を超えて資産運用をしている。（1-3）
- ・2024年からNISA制度が変わることを知らない投資家は昨年から大幅に減り、97%が制度変更を認知しており、年代別で見ると若年層ほど変更される内容までを把握していることが判明。（1-4、1-5）
- ・現行のNISA制度の満足度は2022年調査で43%だったのに対し、NISAの制度変更内容の満足度は79%となり、かなり好意的に受け止められている。（1-6）
- ・生涯限度額、年間枠問わず、金額の上限に対する改善要望が多く見られた。（1-7）
- ・NISAの制度変更で投資意欲が増した投資家は29%。年代別で見ると若い層ほど今回の制度変更で投資意欲が高まったと回答。（1-8、1-9）

## 【1.アンケート調査結果】

### 1-1 NISA を利用している投資家の割合

## NISA口座をお持ちですか？(N=5,183)



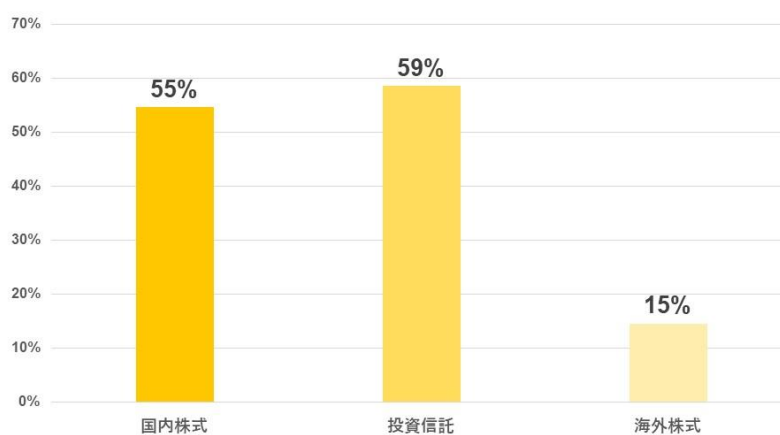
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



NISA を利用している投資家の割合は昨年の 86%から微増でした。資産運用をしている投資家のうち 89%が NISA を利用しており、制度の利用割合は高いといえます。

### 1-2 NISA で購入している商品（複数回答）

## NISAで購入している商品 (N=4,594)



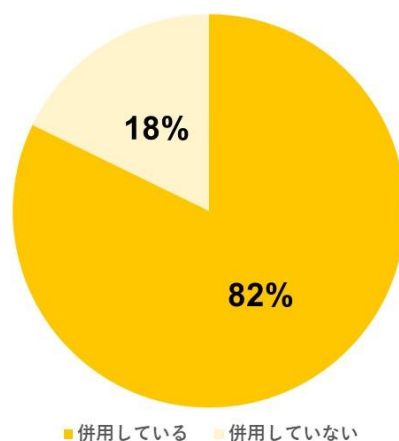
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



NISA を利用している投資家が購入している商品は、国内株式 55%、投資信託が 59%、海外株式が 15%でした。海外株式の購入はまだまだ余地を残していることが分かります。

### 1-3 課税口座との併用有無

## 株式又は投資信託を NISA口座と課税口座で併用していますか？ (N=4,594)



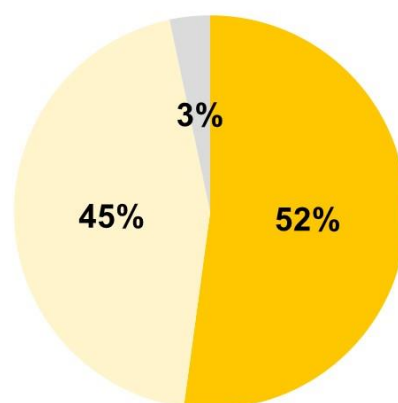
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



課税口座との併用は 82%。多くが NISA 制度の範囲を超えて資産運用を行っていることが分かりました。

### 1-4 NISA 制度変更認知度

## 2024年にNISA制度が変更になることをご存じですか？ (N=4,594)



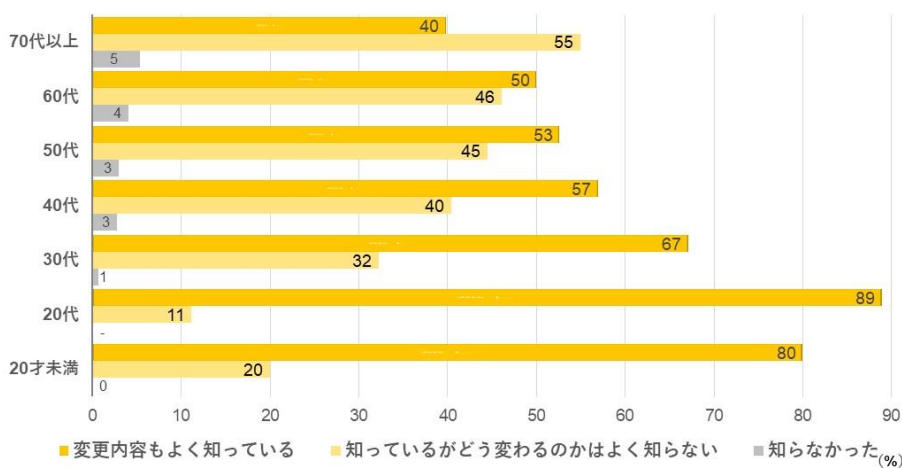
■ 変更内容もよく知っている ■ 知っているがどう変わるのかはよく知らない ■ 知らなかった

COPYRIGHT © MONEX, Inc.



### 1-5 NISA 制度変更認知度（年代別）

#### 〔年代別〕 2024年にNISA制度が変更になることをご存じですか？(N=4,594)



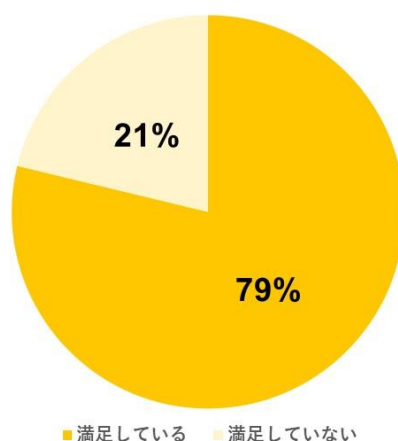
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



2024年（予定）に刷新が発表されている新NISA制度について、2022年調査時は知らない投資家が38%でしたが、2023年の調査では「変更内容も知っている」、「変更内容は知らないが制度変更は知っている」を合わせて97%が変更を認知していました。また、年代別では若い層ほど制度の変更内容までを把握していることがうかがえる結果となりました。

### 1-6 制度変更内容満足度

#### NISAの制度変更内容に満足していますか？(N=2,396)

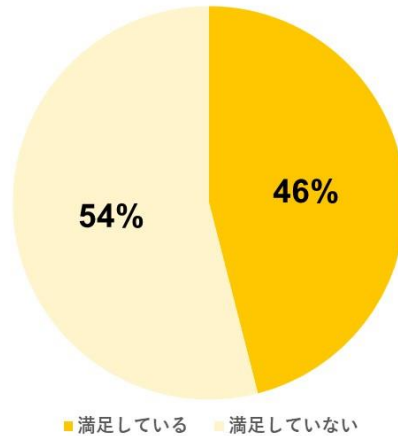


COPYRIGHT © MONEX, Inc.



制度の変更内容も把握している方にNISA制度変更内容の満足度を聞いたところ、「満足している」と回答した投資家は79%にのびりました。2022年の調査では、現行NISAの制度に満足している投資家は46%と過半数にも満たなかったのですが、今回の結果から、新NISA制度はかなり好意的に受け止められていることが分かりました。

＜参考＞2022年調査  
現在のNISA制度に満足していますか？(N=5,906)



COPYRIGHT © MONEX, Inc.



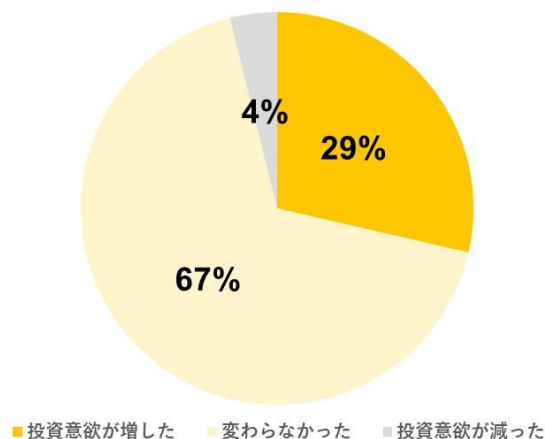
1-7 更に改善してほしい点 (FA)

- ・非課税枠を拡大してほしい
- ・年単位での限度額を撤廃してほしい
- ・特定口座との損益通算を可能にしてほしい
- ・複数の証券口座で制度利用できるようにしてほしい
- ・新旧 NISA 制度のロールオーバーができるようにしてほしい

生涯限度額、年間枠問わず、金額の上限に対する改善要望が圧倒的に多くなりました。満足度は上がったものの、更なる制度の利便性向上は引き続き検討の余地があると言えます。

1-8 投資意欲の変化

岸田政権の「資産所得倍増プラン」による「NISA制度変更」を聞いてあなたの投資意欲に変化はありましたか？(N=5,183)

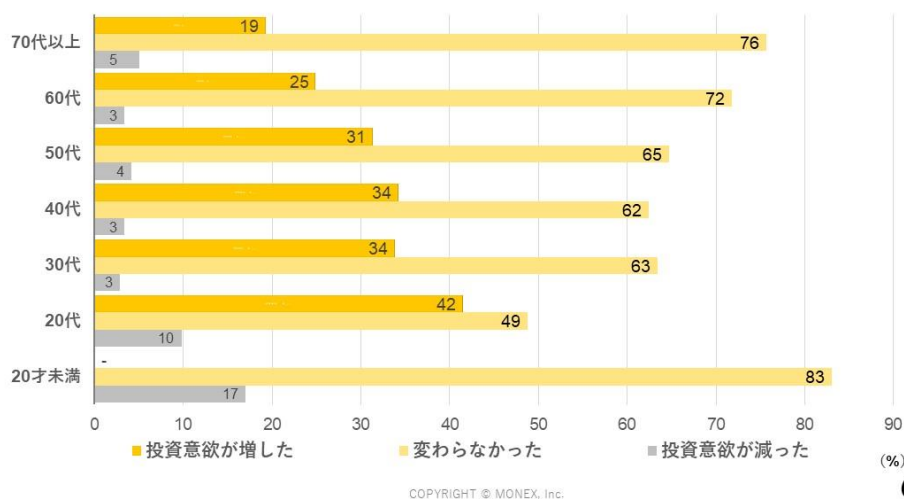


COPYRIGHT © MONEX, Inc.



## 1-9 投資意欲の変化（年代別）

### 〔年代別〕岸田政権の「資産所得倍増プラン」による「NISA制度変更」を聞いてあなたの投資意欲に変化はありましたか？(N=5,183)



NISA の制度変更による投資意欲の変化をきいたところ、投資意欲が増した投資家は 29% でした。しかし年代別で見ると、20 才未満を除き、若い層ほど今回の制度変更で投資意欲が高まったと回答しています。制度変更は、若い世代に受け入れられた政策であることがうかがえます。

## 【2. マネックス証券での NISA 人気銘柄】

マネックス証券の一般 NISA 口座で取引された人気銘柄トップ 10 と、それぞれの銘柄の 2022 年の成績を調査しました。

### ■ 概要

2022 年の取引人数が多かった銘柄トップ 10 とその騰落率の検証

対象：日本株、米国株、投資信託

検証期間：2022 年最初の取引日終値と 2022 年最後の取引日の終値で比較

(日本株、投資信託は 2022 年 1 月 4 日と 12 月 30 日、米国株は 2022 年 1 月 3 日と 12 月 31 日)

### ※ 騰落率について

騰落率とは、二つの時点の価格を比較して、何%上昇したか(または何%下落したか)を表す指標のことです。

## 2-1 日本株人気ランキングトップ 10 (一般 NISA)

[参考騰落率：日経平均 -11%、TOPIX -6.9%]

人気	銘柄コード	銘柄名	騰落率	昨年順位	推移
1	7203	トヨタ自動車	-18.9%	13	↗
2	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	37.5%	1	↘
3	2914	日本たばこ産業	15.3%	3	-
4	5020	ENEOSホールディングス	3.2%	4	-
5	9104	商船三井	8.5%	119	↗
6	9434	ソフトバンク	2.2%	8	↗
7	4755	楽天グループ	-48.7%	73	↗
8	8593	三菱HCキャピタル	11.7%	38	↗
9	8591	オリックス	-11.5%	11	↗
10	9101	日本郵船	2.1%	75	↗

※ 商船三井、日本郵船は期中に分割しているため、22/1/4の株価終値は調整後の数字

COPYRIGHT © MONEX, Inc.



日本株でトップ 10 入りした銘柄は、前回と順位が大きく入れ替わる結果となりました。日経平均の騰落率と比較しても、年間の人気銘柄のパフォーマンスの方がかなり上回っています。新たにランクインしてきた企業も含め配当利回りの高い企業が選ばれる傾向にあります（配当利回り：商船三井 18.18%、日本郵船 24%）。時価総額や配当の高い企業が選ばれており、それらの企業のパフォーマンスが高かった一年でもあったと言えるでしょう。

## 2-2 米国株人気ランキングトップ 10 (一般 NISA)

[参考騰落率：NY ダウ平均 -9.4%、NASDAQ 総合 -33.9%]

人気	ティッカー シンボル	銘柄名	騰落率	昨年順位	推移
1	VTI	バンガード・トータル・ストック・マーケットETF	-21.3%	3	↗
2	AAPL	アップル	-28.6%	1	↘
3	TSLA	テスラ	-69.2%	5	↗
4	QQQ	インベスコ QQQ 信託シリーズ 1	-33.7%	7	↗
5	MSFT	マイクロソフト	-28.4%	9	↗
6	NVDA	エヌビディア	-51.5%	11	↗
7	VOO	バンガード・S&P500 ETF	-20.0%	4	↘
8	AMZN	アマゾン	-50.7%	48	↗
9	T	AT&T	-4.1%	2	↘
10	SOXL	Direxion デイリー 半導体株 ブル 3 倍 ETF	-86.6%	38	↗

COPYRIGHT © MONEX, Inc.



人気上位銘柄の顔ぶれにあまり変化はありませんでしたが、米国全体相場の影響を大きく受けて、ほとんど全ての銘柄のパフォーマンスが悪くなってしまいました。しかし、上位銘柄があまり変化がないということは、長期保有者が多いことを示しており、相場が持ち直してくれば、また成長を見込める銘柄に投資されていることがうかがえます。

### 2-3 投資信託人気ランキング TOP10 (一般 NISA)

人気	銘柄コード	銘柄名	騰落率	昨年順位	推移
1	8223	eMAXISSlim米国株式	-6.5%	1	-
2	8263	eMASlimオールカントリー	-6.1%	3	↗
3	3095	ひふみプラス	-14.3%	2	↘
4	8341	SBI・V S&P500	-6.5%	6	↗
5	8072	楽天全米株式インデックス	-8.2%	7	↗
6	3454	eMAXISSlim先進国株	-5.8%	5	↘
7	3176	ニッセイ外国株式インデックス	-5.8%	4	↘
8	8261	AB米国成長株投信Dコース	-26.0%	27	↗
9	3483	eMAXISSlimバランス8	-5.3%	8	↘
10	8340	iFreeレバNASDAQ	-62.1%	13	↗

COPYRIGHT © MONEX, Inc.



前回同様、海外銘柄でポートフォリオが組まれているファンドが多く購入されていました。人気銘柄の変動もあまり無く、単年の騰落率にかかわらず、過去に実績の出ているファンドが人気上位であることには変わりありません。NYダウ平均やNASDAQ総合の騰落率と比べるとそこまでパフォーマンスが落ちていない投資信託が多いため、米国相場変動の中でもしっかりとリスクヘッジできていた方が多かったことが分かります。



### ■NISA の日企画 「資産運用勉強会」実施希望企業募集

自社の従業員様に金融教育を行いたい企業様を募集し、無償で資産運用の出張セミナーを開催します。

政府の資産所得倍増プラン第四の柱として「雇用者に対する資産形成の強化」が謳われ、更に NISA の制度改正発表により、NISA による資産形成も一層注目を浴びています。しかし、国策として示されたものの、なかなか自社の従業員向けに金融教育を行うのは難しいという課題をマネックス証券が解決しようという施策です。

募集内容	従業員様向けに金融教育セミナーを実施したい企業または部署
実施企業	数社 ※応募多数の場合は全社実施できない場合があります
募集期間	2023年3月31日（金）まで ※応募多数の場合は期日より前に締め切る場合がありますのでご了承ください。
実施可否	当社からご連絡をいたします
費用	無料
実施日	実施企業様と調整の上決定いたします
所要時間	1時間程度 ※応相談
実施方法	対面またはオンライン（ハイブリッド実施可）
応募条件 注意事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・企業規模、会社所在地（セミナー実施会場所在り地）は不問です</li><li>・セミナー実施会場（会議室など）は、企業様でご準備ください オンライン配信の同時実施をご希望の場合も、企業様でご準備ください</li><li>・社内での参加者募集を企業様側で積極的に行ってください</li><li>・セミナーにメディア取材が入ることを了承ください</li><li>・複数企業合同で実施をご希望の場合は応募時に記載をお願いします</li><li>・部署単位での応募も可能です</li></ul>

詳しくはマネックス証券ウェブサイト ([https://info.monex.co.jp/news/2023/20230209\\_02.html](https://info.monex.co.jp/news/2023/20230209_02.html))  
をご覧ください。

## ■マネックス証券のNISAなら



1  
本当に100円から  
投資できる！

2  
口座開設も購入時  
申込手数料も無料！

3  
自動買付できる  
から続けやすい

## ■充実のラインナップ

- ・国内株式：株式取引（現物・信用）に加え、新規公開株（IPO）や公募・売出株式（PO）も対象
- ・投資信託：取扱い投資信託数 1,250 本以上、つみたて NISA 対象 160 本以上
- ・海外株式：米国株式は 5,000 銘柄超、中国株式（香港市場）はほぼ全銘柄が対象

## ■「マネックスポイント」が貯まる

NISA で投資信託<sup>(※)</sup>を持っているだけで、様々な特典と交換できるマネックスポイントが貯まります。

Amazon ギフト券や日本赤十字社への寄付なら、1 ポイントから利用可能。貯めたポイントを無駄なく活用できます。

マネックスカードでの投信つみたてでもご利用いただけます。

(※) 一部対象外となる銘柄があります。

詳しくはマネックス証券ウェブサイト (<https://info.monex.co.jp/nisa/index.html>) をご覧ください。

## ■調査概要と回答者の属性

調査方式：インターネット調査

調査対象：マネックス証券口座保有者

回答数：5,183（うち、NISA 利用者 4,594）

調査期間：2023 年 1 月 25 日（水）～2 月 1 日（水）

以上

## 【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、

一般社団法人 日本投資顧問業協会